

10月定例教育委員会 議事録要旨

日時：令和元年10月18日 13:30開会

場所：中津市役所3階教育委員会室

出席者：栗田教育長、足利委員、中島委員、自覚委員

大下教育次長、大江教育総務課長、榎本教育施設課長、小畑学校教育課長、
高尾社会教育課長、今富体育・給食課長、高崎文化財室長、小倉小幡記念図書館主幹、
高畑教育総務課主幹

○10月教育委員会報告

栗田教育長から、10月時における教育委員会事務局の動き等報告。

○木村記念美術館・村上医家史料館・大江医家史料館・耶馬溪風物館の「文化の日」無料開放について

高尾社会教育課長から、内容について報告。

- ・年々来る人が減っている。来館者を増やすため、何か取り組んでいることは。
→博物館がオープンしてから、史料館等への誘導に力を入れていきたい。
- その他特に意見等なかった。

○中津市歴史博物館オープニングについて

高崎文化財室長から、内容について報告。

- ・市報には掲載していたが、市民に知らせる工夫をしていただきたい。
→今後も市報で継続して周知したいと考えている。新聞でも紹介を行う予定です。
- その他特に意見等なかった。

○その他

今富体育・給食課長から、オリンピック・パラリンピック関連で「共生社会ホストタウン」に認定されたことを報告。

教育委員から

- ・いじめ・不登校の数について、大分県が多いとのニュースがあったが、中津市の現状はどのようになっているか。
→いじめは、平成30年度と平成29年度を比べると約300件多くはなっているが、先生方が細かく聞き取った結果だと捉えている。
- 不登校については、ほぼ横ばいではあるが、児童相談書やスクールソーシャルワーカーと連携し支援を続けているところである。早く学校に戻れるような支援体制を考えたい。

14:05 閉会